

2011年3月19日

東北・関東大震災報告No. 4

古川歯科
熊谷義純

1. 本日震災後へ初めて松島歯科、長町歯科へ訪問できました。
本日松島歯科、長町歯科へ駒形・熊谷で訪問激励を行ないました。
- ①松島（写真は震災当日のもの）



診療室の床
はどろだらけ



診療所前の道
路は津波で川
のように



重いオートク
レーブが落ちた



津波にさらわれ
た車が川に・・・

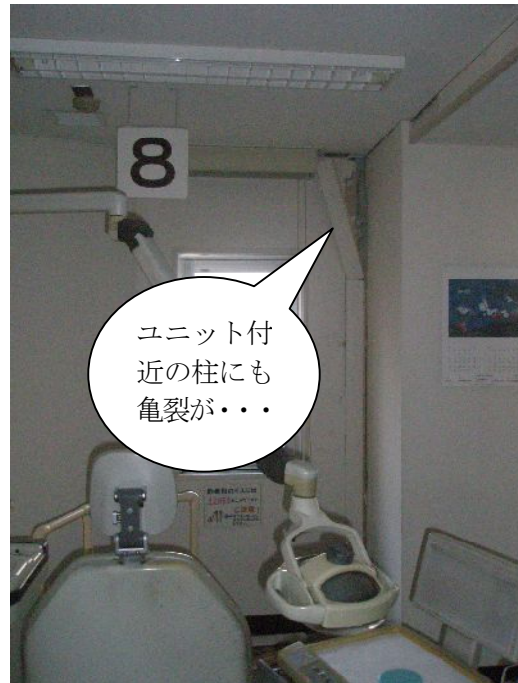
松島は津波の影響で床上30cm浸水し、ユニット、バキューム、コンプレッサーも浸水。カルテも津波で濡れた状態。現在、電気は通じているが水はまだ復旧していない（少なくとも4月以降になる見込み）。電気エンジンで対応できる範囲での診療をしている。

スタッフはDr 2・DH 2・DT 1・DS 1が常時待機。他の職員は自宅が津波に飲み込まれ家族も行方不明、ガソリン不足で通勤不能。スタッフはいるが使用できる機械が無い。3/20にメーカーが来院し通電確認できれば使用可能になる。

津波にのまれ自力で脱出したケアマネの安部さん（元DH）と再開し当時の生々しい状況をうかがいました。

支援者の方には現地スタッフを休ませるために診療支援をお願いしたいこと、避難所にいる被災者の方の口腔相談（ガソリンが不足している場合不可能になるかも）、診療所の後片付けなど多岐にわたる支援活動になります。

②長町（写真は3/19時点）



長町歯科は、建物自体使用不能で、現在隣接する神社の集会所の8畳間1室をお借りしてスタッフルーム兼簡易診療室として使用し急患対応をしいます。

建物の復旧は一定期間必要とします。医科は最小限の機能を向かいの病院へ移動しましたが、歯科は当面の間診療可能な場所を確保することが必要になっています。

Dr3・DH3・DT1とマンパワーがありますが、ポータブルユニットがあと2台あれば、往診を含めて患者さんの最低限の歯科診療を行うことができそうです。

